

**五所川原市連合婦人会がごみ減量化のため  
手作りのエコバックを寄贈**



**エコバックを寄贈した婦人会の皆さん**

12月10日、五所川原市連合婦人会(外崎れい子会長)が、ごみ減量化の取り組みの一環として古着の着物を加工して作ったエコバック約210枚を市や市議会のほか、かなぎ病院に寄贈しました。

会員宅にある使われなくなった着物を寄付してもらい、婦人会の皆さんが各自宅で製作したエコバックは、1着から10枚ほど作ることができるということです。

外崎会長は「人口減少にも関わらず、ごみが多いと感じるため、エコバックを通じてごみに関心を持ってもらい、減量に繋げていければ」と話しました。

寄贈されたエコバックは、市役所1階総合案内窓口に入れ、市民の皆さんに無料で提供されました。

**久々のシュート フットサル大会**



**白熱したプレーをする選手達**

12月12日、新型コロナウイルスの影響で延期となっていた第2回市浦B&G海洋センターU-12フットサル大会が市浦B&G海洋センター体育館で行われました。今大会は多くの子どもたちが出場できるよう、前後半ではなく3ピリオド制で試合が行われました。

子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、素早いパス回しで得点するチャンスを作り、思いっきりシュートを放っていました。

優勝した板柳南SSSの齋藤琉光キャプテンは「みんな協力して勝つことを意識しながら練習しました。大会で優勝できて嬉しいです」と笑顔で話しました。

**株式会社NTTデータ・スマートソーシングと  
基本協定を締結**



**基本協定を結んだ  
(右から)佐々木市長、和田社長、三村知事**

株式会社NTTデータ・スマートソーシング(本社東京)と青森県、当市の間で結ばれた基本協定の調印式が12月22日、ホテルサンルート五所川原で行われました。

同社は県内6カ所目の事業所として寺町に「五所川原BPOセンター」を開設し、当市やつがる市から従業員約50人を採用しました。今後は短時間勤務も含め計100人の雇用を目指すということです。

1月から運用を始め、オランダの電機大手フィリップスの日本法人の事務処理を受託し、今後は青森市の事業所で請け負った新たな業務を五所川原BPOセンターに移行することも検討しているということです。

和田社長は「県、市の期待に応えられるよう地域での雇用を拡大させていきたい」と話しました。

**バスケットボールで全国大会出場**



**全国大会に出場する濱田さん(中央)**

1月4日～7日に東京都で行われる2020年度第1回全国U15バスケットボール選手権大会(Jr.ウィンターカップ)に出場するクラブチーム「B. JOKER」の選手で五所川原第一中学校3年生の濱田椋さんが12月23日、市長を表敬訪問しました。

濱田さんは中学校の部活動に所属していましたが、新型コロナウイルスの影響で県中学体育大会が中止となり、クラブチームに移籍。11月に弘前市で行われたU15の県大会に出場し、見事優勝を収めました。

全国大会に向けポストプレーを練習しているという濱田さんは「185cmの身長を活かした力強いプレーで県代表として頑張りたい」と意気込みを語りました。